



## 外国出張報告書

平成 25 年 11 月 6 日

1. 出張国名           マーシャル諸島共和国
2. 出張月            平成 25 年 10 月
3. 出張目的           地域で循環可能な肥料源の施肥技術確立：A
4. 成果の概要        肥料源の効果的な施肥技術を確立し適作物を選定するためには、現地での栽培実験が必須である。今回の出張では有望肥料源を絞りこみ、栽培試験を開始しようとした。台風の影響で出発が 5 日遅れ、施用有機物資材の乾燥調整と播種は悪天候により実施できなかったが、圃場試験に関しては準備を完了した。試験はまもなく現地入りする JIRCAS メンバーとカウンタパートにより開始され、次期（1 ヶ月後）の出張では予定通り生育調査を実施するとともに今回時間不足で実施できなかった農家圃場での試験を開始する。なお、現地で問題となっている作物の黄化現象については、土壌の Na 測定によって塩害であることをほぼ特定し、対処法を確立するための試験を立案した。